



平成26年3月

総合報告書変更のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
 平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
 このたび凝固検査を総合報告書の項目として追加いたしました。凝固検査につきましてはフリーの報告書でのご報告となっており、ご利用の先生方には大変ご迷惑をおかけいたしました。総合報告書の変更に伴いまして、生化学の台紙にも凝固検査を追加しました。またクレアチニンの基準値が変更になり、少数点以下第2位まで基準値を記載しております。ヘモグロビン A1c におきましては、国際基準に合わせ NGSP 値のみの報告となります。事情をご賢察の上、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

総合報告書変更日：平成26年4月1日配布分より

新総合報告書

ヘモグロビン A1c の値は NGSP 値のみ

糖	血	糖	BG	mg/dL	70~109
尿	ヘモグロビンA1c	A1c (NGSP)	%		4.6~6.2

クレアチニンの基準値変更

腎	尿	素	素	肌	力	mg/dL	8.0~23.0
臓	クレアチニン	CRE		mg/dL	M 0.61~1.34 F 0.47~1.04		
	ギーGFR	eGFR		※日医研薬価委協			

凝固検査の追加

凝 固 検 査	プロトロン時間	PTB	秒	10.0~13.0
	プロトロンイン%	PT%	%	80.0~120.0
	プロトロンINR	PT-INR		0.90~1.13
	A P T T	APTT	秒	25.0~38.0
	トロンボテスト	TT	%	70.0以上
	フィブリノゲン	FIB	mg/dL	170~410

より正確に！

より迅速に！

地域に密着した検査体制 岐阜市医師会臨床検査センター